平成18年第1回
美唄市議会定例会会議録
平成18年3月1日(水曜日)
午前10時00分 開会

◎議事日程

- 第1 会議録署名議員の指名
- 第2 会期決定の件
- 第3 諸般報告
- 第4 議長報告
- 第5 市政並びに教育行政執行方針演説
- 第6 報告第1号 例月出納検査結果報告
- 第7 報告第2号 例月出納検査結果報告
- 第8 報告第3号 例月出納検査結果報告
- 第9 報告第4号 例月出納検査結果報告
- 第10 報告第5号 定期監査報告
- 第11 議案第16号 美唄市国民保護協議会条例制定の件
- 第12 議案第17号 美唄市国民保護対策本部及び緊急対処事態対策本部条例制定の件
- 第13 議案第18号 美唄市部設置条例の一部改正の件
- 第14 議案第19号 美唄市給与条例及び公益法人等への美唄市職員の派遣等に関する条例の一部改正の件
- 第15 議案第20号 美唄市特別職の職員の給与に関する条例及び美唄市教育委員会の教育長の給与、勤務時間その他勤務条件に関する条例の一部改正の件
- 第16 議案第21号 美唄市職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正の件
- 第17 議案第22号 美唄市特別職の非常

- 勤職員に関する報酬及び費用弁償条例の一部改正の件
- 第18 議案第23号 美唄市放課後児童施設条例の一部改正の件
- 第19 議案第24号 サン・スポーツランド美唄条例の一部改正の件
- 第20 議案第25号 美唄市地域体育館設置条例の一部改正の件
- 第21 議案第26号 美唄市税の滞納に対する制限措置に関する条例制定の件
- 第22 議案第27号 美唄市医療費助成条例の一部改正の件
- 第23 議案第28号 美唄市障害者自立支援条例制定の件
- 第24 議案第29号 美唄市支援費制度条例の一部改正及び廃止の件
- 第25 議案第30号 美唄市地域包括支援センター事業条例制定の件
- 第26 議案第31号 美唄市介護保険条例の一部改正の件
- 第27 議案第32号 美唄市介護給付費準備基金条例の一部改正の件
- 第28 議案第33号 美唄市恵風園条例の一部改正の件
- 第29 議案第34号 美唄市介護サービス事業条例の一部改正の件
- 第30 議案第35号 美唄市へき地保育所条例の一部改正の件
- 第31 議案第36号 美唄市パークゴルフ場条例の一部改正の件
- 第32 議案第37号 美唄市営住宅管理条例の一部改正の件
- 第33 議案第38号 市道路線の認定の件
- 第34 議案第39号 平成17年度美唄市

	一般会計補正予算（第7号）	議 長	長 岡 正 勝 君
第35	議案第 40 号 平成17年度美唄市 介護保険会計補正予算（第3号）	副議長	吉 田 栄 君
		1 番	吉 岡 文 子 君
第36	議案第 41 号 平成17年度市立美 唄病院事業会計補正予算（第1号）	3 番	五十嵐 聡 君
		4 番	白 木 優 志 君
第37	議案第 42 号 平成17年度美唄市 水道事業会計補正予算（第2号）	5 番	小 関 勝 教 君
		7 番	土 井 敏 興 君
第38	議案第 5 号 平成18年度美唄市一 般会計予算	8 番	谷 内 八重子 君
		9 番	長谷川 吉 春 君
第39	議案第 6 号 平成18年度美唄市民 バス会計予算	10 番	米 田 良 克 君
		11 番	古 関 充 康 君
第40	議案第 7 号 平成18年度美唄市国 民健康保険会計予算	12 番	矢 部 正 義 君
		13 番	谷 村 孝 一 君
第41	議案第 8 号 平成18年度美唄市老 人保健会計予算	14 番	川 本 政 芳 君
		15 番	内馬場 克 康 君
第42	議案第 9 号 平成18年度美唄市下 水道会計予算	16 番	本 郷 幸 治 君
		18 番	紫 藤 政 則 君
第43	議案第 10 号 平成18年度美唄市 土地区画整理事業会計予算	19 番	荘 司 光 雄 君
		20 番	林 国 夫 君
第44	議案第 11 号 平成18年度美唄市 介護保険会計予算	21 番	中 西 勇 夫 君
<hr/>			
第45	議案第 12 号 平成18年度美唄市 介護サービス事業会計予算	◎欠席議員（1名）	
		2 番	広 島 雄 偉 君
第46	議案第 13 号 平成18年度市立美 唄病院事業会計予算	<hr/>	
		◎出席説明員	
第47	議案第 14 号 平成18年度美唄市 水道事業会計予算	市 長	桜 井 道 夫 君
		助 役	佐 藤 昭 雄 君
第48	議案第 15 号 平成18年度美唄市 工業用水道事業会計予算	総 務 部 長	板 東 知 文 君
		市 民 部 長	三 谷 純 一 君
第49	決議案第 1 号 第5期美唄市総合計 画後期基本計画調査特別委員会設置 に関する決議	保健福祉部長兼福祉事務所長	安 田 昌 彰 君
		建 設 部 長	藤 井 雄 一 君
		水 道 部 長	加 藤 誠 君
		市立美唄病院事務局長	吉 田 讓 君
		消 防 長	佐 藤 賢 治 君

◎出席議員（20名）

総務部総務課長 市川厚記君
総務部総務課総務係長 阿部良雄君

教育委員会委員長 阿部稔君
教育委員会教育長 村上忠雄君
教育委員会教育部長 天野修二君

選挙管理委員会委員長 熊野宗男君
選挙管理委員会事務局長 大道良裕君

農業委員会会長 佐藤博道君
農業委員会事務局長 秋場勝義君

監査委員 川村英昭君
監査事務局長 遠藤等君

◎事務局職員出席者

事務局長 谷津敬一君
次長 和田友子君
総務係長 濱砂邦昭君

午前10時00分 開会

●議長長岡正勝君 ただいまより、本日をもって招集されました平成18年第1回美唄市議会定例会を開会いたします。

●議長長岡正勝君 これより本日の会議を開きます。

この場合、説明員の欠席について次のとおり通知がありましたので、報告いたします。

経済部長酒巻進君は、都合により欠席いたします。

●議長長岡正勝君 日程の第1、会議録署名

議員を指名いたします。

18番 紫藤政則議員

19番 荘司光雄議員

を指名いたします。

●議長長岡正勝君 次に日程の第2、会期決定の件を議題といたします。

お諮りいたします。

本定例会の会期は、本日より3月27日までの27日間とし、うち3月2日ないし3月6日、3月10日ないし3月26日を休会といたしたいと思います。

これにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

ご異議なしと認めます。

よって、会期は本日より3月27日までの27日間とし、うち3月2日ないし3月6日、3月10日ないし3月26日を休会とすることに決定いたしました。

●議長長岡正勝君 次に日程の第3、諸般報告に入ります。

諸般報告については朗読を省略いたします。

諸般報告についてご質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

これをもって諸般報告を終わります。

●議長長岡正勝君 次に日程の第4、議長報告に入ります。

議長報告についても朗読を省略いたします。

議長報告についてご質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

これをもって議長報告を終わります。

●議長長岡正勝君 次の日程の第5、市政並びに教育行政執行方針演説に入ります。

市長。

●市長桜井道夫君（登壇） 平成18年第1回市議会定例会にあたり、市政執行への私の所信を申し上げます。

平成16年10月に市長という重責を担わせていただいてから、1年と5か月が経過しました。

この間、地域の経済・雇用情勢や国の構造改革、さらには地域医療問題など、極めて厳しい環境の下ではありましたが、私は、ふるさと美唄の自立に向けて、人づくり、街づくり、土台づくりによる「生き生き美唄」の実現に全力で取り組んでまいりました。

こうした中において、地域資源を生かした取り組み、子育て支援、ともに支え合う地域づくりの輪の広がりなど、少しずつではありますが、市民の皆さんによる様々な活性化の芽が生まれつつあると感じています。

しかし、現在、我が国では、私たちの生活を揺るがす事件の多発など安全な暮らしのあり方が問われる一方、「国から地方へ」、「官から民へ」といった改革が加速されています。

また、今日の経済状況においても、全国的には緩やかな回復基調にはあるものの、道内市町村においては地域経済や財政状況は極めて厳しい状況に置かれています。

さらに、我が国は、少子高齢化が進行する中、昨年初めて人口が減少に転じるなど、新たな時代の局面を迎えております。

このような時代にあって、美唄にみならず私たち一人ひとりが自立するという心をひとつにして、地域の抱える課題の解決に向けて、

知恵と力を出し合い、ともに挑戦していくことが大切であります。

私は、時代の変化や改革に伴う試練を乗り越えながら、安心な暮らしと明るい希望が持てる自立した地域づくりを目指し、市民の皆さんの先頭に立って行動していく決意であります。

平成18年度は、「美唄21世紀まちづくりプラン後期基本計画」のスタートの年であります。

本市の目指すべき都市像である「人かがやき 夢ひろがる美しき唄のまち」を実現するため、まちづくりの重点として、「福祉」、「環境」、「交流」及び「経済振興」を掲げ、今後予想される様々な改革や社会経済情勢の変化に対応しながら、今後5年間の新たなまちづくりに取り組んでまいります。

計画の推進にあたりましては、「自立推進計画」を踏まえ、「自立と協働のまちづくり」を後期基本計画の重要なテーマとして、今後、重要政策課題に取り組むとともに、事務事業評価システムにより、計画の進行管理に努めてまいります。

また、少子高齢化の進展や人口の減少など、本市を取り巻く環境は非常に厳しい中であって、私は、今、何よりも人とまちの活性化、活力づくりが求められていると考えております。

このため、公約として掲げた「生き生き美唄」の実現に向けて、人・街・土台づくりの3つの柱を基本に、活力あるまちづくりに取り組んでまいります。

地域医療は、本市のまちづくりにとって最も重要な政策課題であります。

このため、厳しい医療環境の中で、市内の医療資源を生かした新たな医療体制を構築するための指針である「美唄市地域医療ビジョン」の実現に向けて、関係団体・機関との協議を引き続き進めるとともに、マスタープランを策定するなど、安心できる地域医療体制の構築に全力を挙げて取り組んでまいります。

また、市立病院については、医師の確保や医療機器の整備に努めるなど診療体制の充実を図ってまいります。

安全で安心してくらせる地域社会を実現するため、「生活安全条例（仮称）」の制定や地域と協働して防犯活動や交通安全運動などに取り組むほか、児童、生徒の登下校時の安全を確保するため、学校と地域の連携を図ってまいります。

また、防災訓練を実施するなど、市民の皆さんの災害に対する備えや防災意識を高めるための取り組みを行ってまいります。

住民の意思に基づく自治のしくみをつくるためには、市民、企業、NPO、各種団体など、すべての人々が、地域のことを考え、議論し、それぞれの役割を担いながら、地域の力を生かした個性あるまちを目指していくことが必要であると考えております。

私は、市民の皆さんと情報を共有し、信頼関係を深めながら、市民の皆さんが主体的に活動できるよう、今後も情報の積極的な提供に努めるほか、「まちづくり基本条例（仮称）」の制定や協働のまちづくりに関する指針の策定に取り組むなど、「自立と協働のまちづくり」を着実に進めてまいります。

これからの地域経営においては、行政が責任を負うべき分野の重点化を図るとともに、

「自助・共助・公助」の考え方から、住民の理解と協力による自発的コミュニティ活動が、より一層地域社会に根付くことが必要であります。

このため、本年4月から一部公共施設の管理運営に指定管理者制度を導入するほか、引き続き、公共サービスの再編や補助金の見直し、ボランティアやNPOなどによるまちづくりへの参加促進に取り組むなど、協働のまちづくりを進めてまいります。

本市の財政状況は、国の三位一体改革や長引く景気の低迷等により、市税や地方交付税など歳入が減少し、極めて深刻な状況にあります。

このため、自立推進計画に基づき、市税等の収納対策の強化や受益と負担の見直し、さらには行政のスリム化など、行財政改革を引き続き強力に推進していくとともに、地域経済の振興等による税収の増加を図るなど、財政力を高め、自治体としての経営基盤の強化に努めてまいります。

また、重要政策課題に重点的に対応できる執行体制を目指し、組織機構の見直しを行うとともに、横断的な政策の展開を図るほか、時代の変化や多様化・複雑化する行政課題に果敢に挑戦し、対応することのできる職員の育成に取り組んでまいります。

次に、平成18年度の主要施策について、申し上げます。

まず、「やさしさと健康のまちづくり」であります。

「福祉のまちづくり条例」の理念に基づき、市民一人ひとりのライフステージに応じた健康と安心を支え、潜在する市民の力を生かし

ながら協働による社会参加のしくみづくりを進め、子どもから高齢者まで安心してらせる、やさしさと健康のまちづくりを進めてまいります。

地域福祉を推進するため、地域福祉ネットワーク事業を通じ地域の取り組みを支援するとともに、地域住民が自ら課題解決できるよう、市民ささえあい推進委員会を中心としたリーダーの育成を支援し、地域力の向上に努めてまいります。

また、南美唄生活館は狭隘で老朽化が著しいことから、南美唄地区の地域福祉活動の拠点施設となる地域福祉会館の建設に向けた地質調査などに着手します。

地域社会全体で子育て家庭を支援するため、「ファミリーサポートシステム」や「せわすき・せわやき隊」の活動を通じ、地域における子育て支援の連携を深めてまいります。

また、放課後児童施設で預かる障がい児の学年をこれまでの4年生から6年生まで拡大するなど、子育て支援の充実に努めてまいります。

健康づくりについては、「びばいヘルシーライフ21」に基づき、子どもや親の「育ち」への支援、青壮年期の生活習慣改善や高齢期の生活機能向上に向けた取り組みを、様々な健康づくり組織との協働により地域の中で展開し、ライフステージに応じた健康づくりを総合的に進めてまいります。

高齢者福祉については、高齢期にあっても明るく活力のある生活を維持できるよう、要介護状態の予防、悪化防止を重視した予防重視型システムへの転換を図るとともに、新たな地域ケアシステムの拠点として「地域包括

支援センター」を設置し、統一的な介護予防マネジメントを実施しながら「新予防給付」の円滑な導入を図ってまいります。

障がい者が地域で自立してくらすことができるよう、支援体制をより強固なものにするため、障害者自立支援法が施行されたところであり、サービスの一元化、施設・事業体系の再編、利用者負担の見直し、地域生活支援事業の創設など、障害者保健福祉体系が大きく変わることから、新制度の円滑な実施に努めてまいります。

市立病院は、市民に信頼される中核病院として、引き続き医師の確保に努めるとともに、経営健全化を一層推進してまいります。

また、新たに診療情報管理室を設置し、診療録等個人情報管理の管理体制を整備するなど病院機能の向上を図ってまいります。

次に「快適な暮らしを実現するまちづくり」であります。

くらしやすい環境づくりや安全で安心な地域をつくるため、都市基盤や生活環境の整備を進めるほか、消防・防災体制の充実に努めるなど、快適な暮らしを実現するまちづくりを進めてまいります。

美唄駅周辺土地区画整理事業については、銀河通のアンダーパスの本年12月開通を目指し整備を進めてまいります。

街路・道路については、昭和通の歩道を整備するほか、継続してあかしあ通の整備を進めてまいります。

除排雪については、間口除雪の対象区域を拡大するほか、冬の市民生活や経済活動を支えるため、安全な道路交通網を確保するなど、充実に努めてまいります。

市民バスについては、効率的な運行を図るとともに、利用者の声を踏まえ利用しやすいダイヤ編成を行うなど、市民の日常生活に必要な足の確保に努めてまいります。

市営住宅については、安心して住むことのできる居住環境を提供するため、有為団地の建替事業を継続してまいります。

上水道については、安全で安定した飲料水を提供するため、導水管及び配水管の整備を進めるとともに、水質の適正管理や危機管理に努めてまいります。

また、下水道については、東明・峰延・茶志内地区などの整備を進め、汚水処理区域の拡大や水洗化の促進を図るほか、農村地域などにおける合併処理浄化槽の設置を継続して実施いたします。

安全で安心な地域づくりを進めるため、防犯や交通安全などの取り組みを地域とともに推進するほか、「生活安全条例（仮称）」の制定に向けて取り組んでまいります。

救命率の向上を図るため、市内3カ所に自動体外式除細動器（AED）を設置するとともに、救命講習会を実施し、救命技術の普及を図るほか、複雑多様化する災害に対応するため、化学消防ポンプ自動車を更新し、機動力の強化を図ります。

防災については、「美唄市地域防災計画」を見直すとともに、防災訓練の実施や自主防災組織の育成など、充実、強化に努めてまいります。

さらに、危機管理については、国民保護法に基づき「美唄市国民保護計画」を策定してまいります。

次に「人と自然が調和したまちづくり」で

あります。

地球環境の保全が強く求められている中、環境への負荷を少なくし、本市の豊かな自然環境を将来にわたり良好な状態で維持していくことが重要となっています。

このため、生活環境や自然環境の保全など、環境に配慮した市民ぐるみの取り組みにより、人と自然が調和したまちづくりを進めてまいります。

市民・事業者・市が連携して環境保全活動に取り組む循環型社会づくりを進めるため、本市の環境政策の理念と方向性などを定める「美しきまちづくり条例（仮称）」の制定に向けて取り組んでまいります。

宮島沼については、水質調査、環境学習などを実施し、環境に関する情報提供の充実を図りながら自然環境の保全や活用に努めてまいります。

また、環境省による「宮島沼水鳥・湿地センター」が平成18年度完成予定となっていることから、駐車場や道路など周辺環境の整備を進めてまいります。

廃棄物を適正に処理するため、引き続き、自然環境の保全や環境に与える負荷の低減に配慮した最終処分場の整備を進めてまいります。

家庭ごみの有料化については、費用負担の公平とごみの減量化やリサイクル推進の観点から、さらに検討を進めてまいります。

次に「豊かで活力ある産業が広がるまちづくり」であります。

長期にわたる景気低迷や厳しい雇用環境が続く中、地域経済の活性化を図るため、農業、商工業、観光の振興と産業間の相互連携に努

めるとともに、新産業の創出を図るなど、豊かで活力のある産業が広がるまちづくりを進めてまいります。

地元農産物や特産品などの情報発信や交流促進機能を備えた「食の駅」の整備に向けた具体的な検討を進めるとともに、売れる農産物づくりを促進するため、特産品のハスカップの生産拡大に取り組むほか、米粉を中心とした農産加工品の利用促進など、消費拡大に向けた取り組みを進めてまいります。

また、引き続き、ほ場整備等による生産基盤の確立に努めるほか、国の農政改革に対応するため、関係機関・団体と連携して「農業支援センター（仮称）」を設立し、担い手や産地づくりを進めてまいります。

中心市街地活性化のため、空き店舗を活用した賑わい創出事業を継続するとともに、生協跡地利用について、「中心市街地活性化基本計画」を踏まえ、TMO及び関係機関・団体と協議しながら有効活用の方策を探ってまいります。

また、交流拠点施設等を整備するとともに、宮島沼などの地域資源や各種イベントを有効に結びつけるなど多様な交流活動を展開しながら、観光の振興を図ってまいります。

雪の冷熱エネルギーの利用促進による環境保全や産業振興を目指して、夏に、利雪技術の普及とPRを目的としたイベントを国、道及び民間団体と連携して開催いたします。

また、地場企業や産業間の結びつきを強め、内発的な産業の創出を図るため、中小企業等が行う新たな事業分野の進出や新製品、新技術の研究開発に対する支援等を行ってまいります。

雇用については、職業訓練や講習受講に対する助成を継続するとともに、就職を希望する高校在学生の各種技能習得を支援し、新卒者や若者を含めた求職者の就業支援に努めてまいります。

次に「文化と交流のまちづくり」についてであります。

教育、芸術、文化、スポーツなどの活動や多様な交流が人の心に豊かさと潤いをもたらし、まちの活性化につながるよう、文化と交流のまちづくりを進めてまいります。

本市の個性と魅力を高め、活力ある地域づくりを目指すため、交流拠点施設を核に、自然や歴史、文化、産業などの豊かな地域資源を生かして、幅広く多様な交流を促進してまいります。

子どもたちが夢と希望にあふれ、主体性と責任感を持ちながら心豊かにたくましく成長することができるよう、確かな学力や豊かな人間性、たくましく生きるための健康や体力などからなる「生きる力」を育むための教育を推進してまいります。

芸術、文化については、アルテピアッツァ美唄の整備充実を図るとともに、市民会館等での芸術鑑賞の機会を提供しながら、市民の自主的な芸術・文化活動を促進してまいります。

中国からの留学生を多数受け入れるなど特色ある教育活動を展開している専修大学北海道短期大学に対しては、地域とのつながりを図りながら市民団体等と連携した支援を行ってまいります。

以上、平成18年度の市政執行方針を申し上げます。

今、地方は、自主・自立により、いかに個性的で魅力ある地域を形成するかが問われており、その力量が試される、生き残りをかけた地域間競争の時代に入っております。

私は、個性豊かで自立した地域社会を築いていくための源泉は、市民一人ひとりの自由な発想と豊かな想像力、そして、ともに協力し、様々な可能性に挑戦していく熱い心にあると考えております。

市民の皆さんがそれぞれの個性を活かして、意欲をもって活力のあるまちづくりに向けて行動し、その成果を共有できるよう、私は、市民の皆さんと心をひとつにし、全力で取り組んでいく所存であります。

市民の皆さん、市議会議員の皆さんの、一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

●議長長岡正勝君 教育長。

●教育長村上忠雄君（登壇） 平成 18 年第 1 回市議会定例会にあたり、教育委員会の所管行政の執行に関する主要な方針について申し上げます。

今日の社会は、科学技術の革新や社会のグローバル化が急激に進み、価値観の多様化や少子高齢化の進展とあいまって、子どもや大人を取り巻く環境は大きく変化しています。

このような時代の変化に対応して、国では行財政の構造改革が進められ、教育制度においても抜本的な見直し論議がされる中、地方の役割と責任がより強く求められてきています。

地方自治体を取り巻く環境は極めて厳しい状況ではありますが、市民の皆さんが心豊かに暮らしていくために教養・芸術文化、スポーツなどを「いつでも、どこでも、誰もが」

学び続け、その成果を地域社会の中で生かすことができる美唄の歴史、文化や自然に根ざした生涯学習社会の構築に努めていかなければなりません。

とりわけ、子ども達が安全で安心できる環境の中で、確かな学力、人を思いやる豊かな人間性やたくましく健やかな身体を育むことは重要なことであります。

教育委員会といたしましては、「美唄 21 世紀まちづくりプラン後期基本計画」や「美唄市生涯学習推進計画」等による豊かな個性と創造性に富む人づくりに努め、大人も子どもも「ふるさと美唄」に愛着を持ち、夢と希望にあふれ、主体性と責任感を持ちながら学び続けることができる環境をつくることが重要と考えております。

そのためには、学校と家庭そして地域との信頼関係の下、関係部局や関係機関・団体との連携を図りながら諸施策の推進の取り組みを行います。

はじめに、学校教育について申し上げます。

幼稚園教育につきましては、幼稚園生活を通して、幼児が遊びや自然とのふれあいなどの様々な体験を積み重ねる中で、幼児期にふさわしい、基本的な生活習慣を身につけ、「生きる力」の基礎を培うことが大切であります。

このため、幼児の一人ひとりの特性に応じた適切な指導を行うとともに、小中学校や地域との交流などにより、幼稚園教育の充実に努めてまいります。

次に、小中学校教育につきましては、人格の完成を目指すという教育の目的に向け、児童生徒一人ひとりに自ら学び考える力などの確かな学力や豊かな人間性、たくましく生き

るための健康や体力などからなる「生きる力」を育むための教育を推進していくことが重要であります。

各学校においては、地域参観日等を設定し教育活動を地域に公開したり、自己評価・外部評価等の学校評価の結果を積極的に公表するなど、透明性のある開かれた学校づくりに努めるとともに、地域世代間交流など地域と学校が具体的な行動連携を行う取り組みを推進するなど、地域の声が学校運営に反映され、地域に信頼される学校づくりが一層推進されるよう努めてまいります。また、子ども達の発達段階や特性を十分考慮しながら、学習指導要領に準拠した適正な教育課程の編成・実施に努め、地域の特色を生かした教育が展開されるよう努めてまいります。

確かな学力の向上につきましては、本年度から市内小中学校で一斉に実施する標準学力検査等を活用し、客観的なデータに基づく到達度・理解度の分析を行うなど子どもの学習状況を的確に把握するとともに、少人数指導や習熟度別授業、ティーム・ティーチングなど指導方法や指導体制の工夫改善に努め、個に応じたわかる授業を展開し、基礎・基本の確実な定着や学習意欲の高揚、学習習慣の定着化に努めてまいります。

また、総合的な学習の時間においては、その趣旨やねらいを踏まえ、豊かな学習活動を展開するため、地域素材の開発や地域人材の積極的活用など、故郷を意識した取組の推進が図られるよう支援してまいります。さらに、外国人講師を小学校の授業へ積極的に派遣し、国際理解に関する学習の一環である英会話教育の推進と充実に努めるほか、ボランティア

活動や職場体験などの社会体験等を積極的に取り入れた福祉教育やキャリア教育の推進、そして、コンピュータ等の情報機器を活用した情報教育の推進に努めてまいります。また、探究活動等の機会において図書館等を有効に活用し、学習活動を通じた読書習慣の確立に努めてまいります。

豊かな心を育む教育の充実につきましては、社会のルールを身につけ、様々な体験を通じた道徳性の涵養等が必要なことから、子どもの発達段階や実態に即した道徳教育を実施するとともに、本年度から2カ年で実施する道教委の委嘱事業である「生徒指導総合連携推進事業」を活用するなど、一人ひとりの自己実現に向けて生徒指導体制の充実が図られるよう努めてまいります。また、今日的な教育課題の一つである不登校児童生徒の指導については、将来的進路等を考慮した上で、家庭・学校及び関係機関等との連携強化を図りながら、適応指導教室などにおいて、学校復帰へ向けての支援に努めてまいります。

健やかでたくましい心身を育む教育の充実につきましては、生涯にわたって健康な生活を営むことができる資質や能力を育むために、体育・保健など各教科等の指導の充実はもとより、健康相談活動の充実を図るとともに、「薬物乱用防止教室」の実施や「性に関する教育」の充実を図るなど、健康に関する指導の充実に努めてまいります。さらに、子ども達の健康増進や望ましい食習慣と自己管理能力の形成を図るために、引き続き栄養教諭制度の活用を検討するなど、家庭との連携を基盤とした食に関する指導の一層の充実に努めるとともに、学校給食につきましては、地元

産の米や無・低農薬野菜など、新鮮な食材の活用や徹底した施設衛生管理を行い安全で安心できる手づくりの給食の提供に努めてまいります。

障がいのある児童生徒の教育につきましては、これまでも障がいの種類や程度に応じた教育の充実が図られるよう努めているところですが、一人ひとりのニーズに応じた特別支援教育へ向けての取組が求められていることから、地域のセンター的機能を担う美唄養護学校を中心として組織された「美唄市特別支援教育連携協議会」や関係機関との連携を図り、より適切な就学指導を進めるとともに、教職員に対する研修機会の確保や保護者・地域等への情報提要など啓発活動に努めてまいります。

児童生徒の安全確保につきましては、特に、登下校時を中心として児童生徒が被害者となる事件が全国的に多発していることから、日常的な危機管理意識の高揚や具体的な対処法の指導を目的とした防犯教室や避難訓練等を実施するなど、安全指導の徹底を図るとともに、通学路の安全確保や情報の共有化等を目的とした危機管理体制を地域ぐるみで確立するため、警察署等の関係機関との連携強化に努めてまいります。

これらの教育を推進していくためには、教職員の資質向上と意識改革が極めて重要であることから、実践的指導力の向上を目指した校内研修の充実を図り、自校の研究課題を解明するために開かれた研修の推進に努めるとともに、空知教育センター等における各種研修会への積極的な参加の奨励や公開研究指定校及び研究奨励校事業等による教職員研修の

一層の充実に努めてまいります。さらに、地域に密着した今日的かつ実践的な研究を推進している教育研究所と学校との連携を図り、学習指導のあり方や郷土学習における実践交流などの取組を推進してまいります。

学校施設の整備につきましては、南美唄小学校の暖房設備大規模改修工事などを実施し、教育環境の整備に努めてまいります。

幼稚園及び小学校の配置につきましては、少子化に伴い学校の小規模化が進んでおり、子ども達にとってよりよい教育環境を整える見地から、今後においても保護者や地域の方々の声を十分に聞きながら、見直しを進めてまいります。

高校教育につきましては、少子化や生徒の進路志向の多様化が進む中、市内の各高校では特色ある教育活動を展開しており、これを児童生徒、保護者、市民の方々に広く紹介し、地元高校への関心を深めていくことが大切です。

このため、専修大学北海道短期大学との教育交流や、就業体験としての「インターンシップ推進事業」、小中学生を対象とした「ものづくり教育」などへの支援を行うとともに、小中学校や関係機関との連携も図ってまいります。

また、専修大学北海道短期大学や、北海道中央コンピュータ・カレッジへの入学金助成事業と、美唄市奨学資金貸付事業を引き続き実施し、地元学生等を対象に、経済的負担の軽減と就学促進を図り、地域における高等教育の充実に努めてまいります。

次に、社会教育について申し上げます。

社会教育につきましては、激しく変化する

社会の中で、市民一人ひとりが自由に、自分にあつた手段・方法を選びながら、学び続けることができる生涯学習社会に対応した環境づくりが大切であります。

このため、美唄市教育委員会ホームページや広報誌メロディーを活用し、人材バンクや各種事業の紹介等情報提供に努め、誰もが気軽に参加できる「美唄市民カレッジ」事業等の充実を図ってまいります。

青少年の健全育成につきましては、心身ともにたくましい心豊かな青少年を育てるために、家庭・学校・地域等が連携を密にし、相互の教育力を高めていくことが大切であります。

このため、子ども達を対象とした社会教育施設等の土曜日の無料開放事業を引き続き実施するほか、青少年育成基金を活用した広域交流・野外体験活動や子ども会対抗球技大会などを開催してまいります。

また、放課後児童対策事業につきましては、児童に適切な遊びや生活の場を確保することにより、子育て支援や健全育成の推進に努めるとともに、障がいのある児童の受け入れ対象年齢の引き上げを行い事業の充実を図ってまいります。

青少年センターにつきましては、青少年の問題行動を未然に防止するため、家庭、学校、地域及び関係機関・団体との連携を強化し、街頭指導活動や相談機能の充実などに努めてまいります。

芸術文化の振興につきましては、「美唄市民劇場」の主体的な文化活動に対し引き続き支援を行うほか、各種コンサートや個展等の文化事業を促進するとともに、市が所有する絵画

等を活用し、優れた芸術文化に触れる機会を提供してまいります。

また、芸術文化交流拠点施設である「アルテピアッツァ美唄」については、効率的かつ効果的な管理運営を図るため、指定管理者制度を導入するほか、市内児童生徒や一般市民の生涯学習の場として利用することができる「体験工房」を建設し、あわせて喫茶コーナーを設けるなどサービスの向上に努めてまいります。

本市に伝わる文化財につきましては、適切に保護保存及び有効な活用を図るほか、地域と学校が連携し進めている郷土芸能の伝承に向けた取り組みにつきましては引き続き支援してまいります。その他、日本古来の伝統文化を子どもたちに伝えるため茶道や華道・日本舞踊など「伝統文化子ども教室」の開催を促進してまいります。

郷土史料館につきましては、歴史資料の収集・保存・整備に努め、特別展「美唄の学校の歴史」を開催するなど、郷土美唄に対する理解を深める機会の提供に努めるほか、子ども映画会やミニ門松づくりなどの体験学習講座を引き続き実施してまいります。

勤労青少年ホームにつきましては、ホーム運営委員会などと連携を図りながら、各種講座の開催や交流事業を推進してまいります。

公民館につきましては、引き続き市民文化講座を開催するほか、文化団体や各種サークル等の自主的活動を支援し、学習の発表・交流の場として、その機能を十分発揮するよう努めてまいります。

図書館につきましては、市民の学習や読書意欲を高めるため、図書資料の提供や問い合

わせに応えるレファレンスサービスの充実に努めるほか、小・中学校の学校図書館運営に対する支援をとおり、児童生徒の読書習慣が身に付くよう努めてまいります。

次に、社会体育について申し上げます。

社会体育につきましては、市民の皆さんが明るく健康で活力ある生活を営むことができるよう、民間指導者等の育成・確保にも努め、「いつでも・どこでも・だれもが・いつまでも」、「体力や年齢・技術・趣味・目的」に合わせて、気軽にスポーツに親しむことができる生涯スポーツ社会の実現に向け努力することが重要であります。

このため、NPO法人美唄市体育協会や体育指導委員会、各関係機関・団体等と連携を図り、各種スポーツ大会・教室等の開催や各スポーツ団体の活動を支援するほか、気軽に誰もが参加できるテニポンやカローリング等の軽スポーツの普及、健康増進のためのウォーキング活動等を実施するなど、それぞれの体力や年齢に応じた健康と体力づくりが行われるよう努めてまいります。

温水プールにつきましては、「指定管理者制度」を導入し、子どもから高齢者、障がいのある方まで年齢や体力に関係なく気軽に利用できるよう効果的な管理運営を図ってまいります。

スポーツ活動の拠点となる総合体育館やサン・スポーツランド、体育センターなどの施設につきましては、安全で安心して自由、快適に利用できるよう維持管理に努めるとともに、引き続き学校体育施設開放事業を実施し地域におけるスポーツ活動を促進してまいります。

また、市営野球場につきましては、屋外トイレを改修し環境整備をするほか、交流拠点施設等との連携を図り、利用促進に努めてまいります。

以上、平成18年度の教育行政の主要な方針について申し上げますが、その執行にあたりましては、市民の皆さんの期待と信頼に応え、学校・家庭・地域社会と一体となって地域に根ざした教育行政の推進に最大限の努力をしてまいります。

市民の皆さん並びに市議会議員の皆さんのご理解とご協力を心からお願い申し上げます。

●議長長岡正勝君 次に日程の第6、報告第1号例月出納検査結果報告ないし日程の第10、報告第5号定期監査報告の以上5件を一括議題といたします。

これより本件について一括質疑を行います。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

これをもって報告第1号ないし報告第5号の以上5件を終わります。

●議長長岡正勝君 次に日程の第11、議案第16号美唄市国民保護協議会条例制定の件ないし日程の第33、議案第38号市道路線の認定の件の以上23件を一括議題といたします。

本件に関し提案理由の説明を求めます。

市長。

●市長桜井道夫君（登壇） ただいま上程されました各案件について、提案理由をご説明申し上げます。

初めに、議案第16号美唄市国民保護協議会条例制定の件であります。

本件は、武力攻撃事態等における国民の保

護のための措置に関する法律の制定に伴い、美唄市国民保護協議会の組織及び運営に関し、必要な事項を定めようとするものであります。

次は、議案第 17 号美唄市国民保護対策本部及び緊急対処事態対策本部条例制定の件であります。

本件は、武力攻撃事態等における国民の保護のための措置に関する法律の制定に伴い、美唄市国民保護対策本部及び緊急対処事態対策本部に関し、必要な事項を定めようとするものであります。

次は、議案第 18 号美唄市部設置条例の一部改正の件であります。

本件は、本市の重要政策課題に即応できる執行体制を目指すため、市の組織について改編するほか、部の分掌事務を整理しようとするものであります。

次は、議案第 19 号美唄市給与条例及び公益法人等への美唄市職員の派遣等に関する条例の一部改正の件であります。

本件は、一般職及び再任用職員の給与等について、平成 17 年度人事院勧告に基づき、必要な改正を行うほか、本市を取り巻く財政環境が一層厳しさを増している状況にあることから、新たな給与の独自削減を実施しようとするものであります。

次は、議案第 20 号美唄市特別職の職員の給与に関する条例及び美唄市教育委員会の教育長の給与、勤務時間その他勤務条件に関する条例の一部改正の件であります。

本件は、報酬審議会の答申を受け、特別職の給与月額を改定し、一般職の給与改定に伴い、期末手当の支給割合を改正するほか、現在の給与の独自削減措置が、本年 3 月末を持

って終了することから、新たな独自削減措置を実施しようとするものであります。

次は、議案第 21 号美唄市職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正の件であります。

本件は、特殊勤務手当のうち、業務委託や指定管理者制度の導入等により、支給実績がないもの、今後、見込まれないものを廃止するほか、養護老人ホームの設備や運営に関する基準が一部改正されたため、介護員を支援員に改正するものでございます。

次は、議案第 22 号美唄市特別職の非常勤職員に関する報酬及び費用弁償条例の一部改正の件であります。

本件は、本市を取り巻く財政環境が一層厳しさを増している状況にあることから、他の自治体の状況も勘案し、農業委員会委員の報酬額の 5 % 程度を削減しようとするものであります。

次は、議案第 23 号美唄市放課後児童施設条例の一部改正の件であります。

本件は、障害児の入所を 4 年生から 6 年生に引き上げるため、また本市を取り巻く財政環境が一層厳しさを増している状況にあることから、入所に要する負担金の額を改定するため必要な改正をするほか、地方自治法の改正に伴い、公の施設の管理運営については、市直営または指定管理者の管理の代行となったため、公共的団体への委託に関する規定を削除しようとするものであります。

次は、議案第 24 号サン・スポーツランド美唄条例の一部改正の件であります。

本件は、地方自治法の改正に伴い、公の施設の管理運営については、指定管理者の管理の代行または市直営となったため、公共的団

体への委託に関する規定を削除しようとするほか、使用料の減免について新たに規定しようとするものであります。

次は、議案第 25 号美唄市地域体育館設置条例の一部改正の件であります。

本件は、地方自治法の改正に伴い、公の施設の管理運営については、指定管理者の管理の代行または市直営となったため、公共的団体への委託に関する規定を削除するほか、使用料について新たに規定しようとするものであります。

次は、議案第 26 号美唄市税の滞納に対する制限措置に関する条例制定の件であります。

本件は、市税における納税義務の公平性を保つ観点から、市税を滞納しかつ著しく誠実性を欠くものに対し、制限措置を講ずることにより、滞納整理の推進を図るとともに、市税の徴収に対する信頼を確保することを目的とし、条例を制定しようとするものであります。

次は、議案第 27 号美唄市医療費助成条例の一部改正の件であります。

本件は、障害者自立支援法の制定に関連して医療費が実費負担となる、知的障害者援護施設に入所しているもののうち、支給要件を満たすものに対し、医療費を助成するため、必要な改正をしようとするものであります。

次は、議案第 28 号美唄市障害者自立支援条例制定の件であります。

本件は、障害者等がその有する能力及び適正に応じ、自立した日常生活または社会生活を営むことができるよう、自立支援に関し必要な事項を定め、もって障害者等の福祉の増進に資することを目的とし、条例を制定しよ

うとするものであります。

次は、議案第 29 号美唄市支援費制度条例の一部改正及び廃止の件であります。

本件は、障害者自立支援法の制定に伴い、居宅生活支援に係る給付並びに利用者負担額が同法に規定されたため、身体障害者福祉法・知的障害者福祉法及び児童福祉法の関係規定が削除されたことから、条例上の引用条項を整理し、また本年 10 月 1 日から施設入所に関する規定も削除されたことから、同日付で条例を廃止しようとするものであります。

次は、議案第 30 号美唄市地域包括支援センター事業条例制定の件であります。

本件は、高齢者、障害者及びその家族等の心身の健康の保持、及び生活の安定のために必要な援助を行うことにより、その福祉の増進を包括的に支援する、美唄市地域包括支援センター事業の実施について、必要な事項を定めるものとするものであります。

次は、議案第 31 号美唄市介護保険条例の一部改正の件であります。

本件は、平成 18 年度から平成 20 年度まで 3 年を単位とした、事業運営期間における保険料率を設定し、新たに介護予防事業を実施するほか、必要な改正をしようとするものであります。

次は、議案第 32 号美唄市介護給付費準備基金条例の一部改正の件であります。

本件は、介護給付費準備基金の用途について、保険給付事業のほか、新たに介護予防事業に要する経費を追加しようとするものであります。

次は、議案第 33 号美唄市恵風園条例の一部改正の件であります。

本件は、老人福祉法の一部改正に伴い、養護老人ホームは、入所者が自立した日常生活を営み、社会的活動に参加するために必要な指導及び訓練その他の援助を行うことを目的とする施設であることを明確化されたため、養護老人ホームへの入所措置の事由が「身体上の理由もしくは精神上または環境上の理由及び経済的理由」から、「環境上の理由及び経済的理由」に見直しされたことから、条例上の規定の整備をしようとするものであります。

次は、議案第34号美唄市介護サービス事業条例の一部改正の件であります。

本件は、介護保険法の一部改正に伴い、条例中の法令の引用条項を整備しようとするものであります。

次は、議案第35号美唄市へき地保育所条例の一部改正の件であります。

本件は、へき地保育所の保育料について、認可保育所の階層区分にあわせ、12階層区分から7階層区分にするほか、必要な改正をしようとするものであります。

次は、議案第36号美唄市パークゴルフ場条例の一部改正の件であります。

本件は、パークゴルフ場の使用料について今シーズンのオープンに向けて、日曜日、土曜日、祝日の1日利用の料金を新たに設定しようとするものであります。

次は、議案第37号美唄市営住宅管理条例の一部改正の件であります。

本件は、公営住宅法施行令の一部を改正する政令の改正に伴い、既存入居者の公募によらない他の公営住宅への入居が可能となる事由の拡大がなされたことから同趣旨に沿って規定の整備を行うほか、地方自治法の改正に

伴い、公の施設の管理運営については、指定管理所の管理の代行または市直営となったため、公共的団体への委託に関する規定を削除しようとするものであります。

次は、議案第38号市道路線の認定の件であります。

本件は、新たに3路線を市道認定しようとするもので、道路法の規定により、議会の議決を求めるものであります。

よろしくご審議をお願いいたします。

●議長長岡正勝君 お諮りいたします。

ただいま提案理由の説明ありました、議案第16号ないし議案第38号の以上23件については大綱質疑にとどめ、所管の常任委員会に付託の上、審査することにいたしたいと思えます。

これにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

ご異議なしと認め、さよう決定いたします。

これより議案第16号ないし議案第25号の以上10件について、一括大綱質疑を行います。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

これをもって議案第16号ないし議案第25号の以上10件についての一括大綱質疑を終結いたします。

次に、議案第26号ないし議案第35号の以上10件について一括大綱質疑を行います。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

これをもって、議案第26号ないし議案第35号の以上10件についての一括大綱質疑を終結いたします。

次に、議案第36号ないし議案第38号の以上3件について一括大綱質疑を行います。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

これをもって、議案第 36 号ないし議案第 38 号の以上 3 件についての一括大綱質疑を終結いたします。

よって議案第 16 号ないし議案第 25 号の以上 10 件は総務委員会に、議案第 26 号ないし議案第 35 号の以上 10 件は民生委員会に、議案第 36 号ないし議案第 38 号の以上 3 件は経済建設委員会に、それぞれ付託の上、審査することに決定いたしました。

●議長長岡正勝君 次に日程の第 34、議案第 39 号平成 17 年度美唄市一般会計補正予算(第 7 号) ないし日程の第 48、議案第 15 号平成 18 年度美唄市工業用水道事業会計予算の以上 15 件を一括議題といたします。

本件に関し提案理由の説明を求めます。
市長。

●市長桜井道夫君(登壇) ただいま上程されました各案件について、提案理由をご説明申し上げます。

初めに、議案第 39 号平成 17 年度美唄市一般会計補正予算(第 7 号)であります。

本件は、第 1 条歳入歳出予算及び第 2 条地方債について、補正しようとするものであります。

第 1 条歳入歳出予算の補正内容については、歳入歳出総額にそれぞれ 1 億 0,254 万 7,000 円を追加し、補正後の予算総額を 243 億 7,156 万 1,000 円としようとするものであります。

補正内容については、歳出から申し上げますと、諸支出金に介護保険会計の給付費増に伴う法定負担分及び病院会計の経営健全化追加繰入金を計上いたしました。

一方、歳入については、歳出計上額に対応

する自動車重量譲与税および国民健康保険支払準備基金繰入金を計上し、財源対応をいたしました。

第 2 条地方債の補正については、起債の許可予定額が増額となるため、過疎対策事業債のほか 3 件を変更しようとするものであります。

次は、議案第 40 号平成 17 年度美唄市介護保険会計補正予算(第 3 号)であります。

本件は、歳入歳出予算について補正しようとするもので、歳入歳出予算の総額にそれぞれ 2,037 万 3,000 円を追加し、補正後の予算総額を 20 億 2,825 万 5,000 円としようとするものであります。

補正内容について、歳出から申し上げますと、保険給付費に施設介護サービスに要する経費を計上いたしました。

一方、歳入については、歳出計上額に対応する国庫支出金、道支出金、支払基金交付金及び一般会計繰入金を計上し、財源対応をいたしました。

次は、議案第 41 号平成 17 年度市立美唄病院事業会計補正予算(第 1 号)であります。

本件は、一般会計からの追加支援を受けることから、収益的収入の補正として、医業外収益に 1 億円を計上するほか、予算第 8 条に定めた他会計からの補助金の予定額に 1 億円を追加し、5 億 0,255 万 4,000 円としようとするものであります。

次は、議案第 42 号平成 17 年度美唄市水道事業会計補正予算(第 2 号)であります。

本件は、2 年以上経過した、水道料金の未納分のもののうち、消滅時効となった未納分について、会計処理として不能欠損処理をす

るため、収益的収入及び支出の補正をしようとするもので、支出の営業外費用の雑支出に1,145万2,000円を計上するものであります。

次に、平成18年度各会計予算について申し上げます。

平成18年度予算の編成におきましては、地方交付税などの一般財源の減少により、極めて厳しい財政状況にある中、内部管理経費の節減や事務事業の見直しなど、歳出の抑制や事業の選択を図る一方、自立した活力あるまちづくりに向け、土地基盤の整備や交流推進関連事業などに、可能な限り取り組んだところでございます。

この結果、全会計の予算の総額は360億2,748万3,000円となりました。

以下、会計ごとに予算の概要をご説明申し上げます。

初めに、議案第5号平成18年度美唄市一般会計予算であります。

第1条は、歳入歳出予算の総額を186億9,916万3,000円と定めようとするものであります。

歳入歳出予算の款項の区分及びその金額は、第1表のとおりであります。

以下、歳出の主なものについて申し上げますと、議会費には議会の運営に要する一般管理事務費などを、総務費には地域医療体制の確立に向けた事業費などを、民生費には地域包括支援センターの運営事業費などを、衛生費には最終処分場整備事業費などを、労働費には求職者等職業能力開発支援事業費などを、農林費には農業経営改善推進事業費などを、商工費には新事業分野への進出を支援する中小企業等振興対策補助事業費などを、土木費

には有為団地建替にかかる改良住宅建設事業費などを、消防費には消防車両整備事業費などを、教育費には標準学力検査導入事業費などを、公債費には市債の元利償還金などを、職員費には一般会計職員の給与等に要する経費などを、諸支出金には市立美唄病院の経営健全化に要する繰出金などを計上いたしました。

一方、歳入予算の主なものとして、税源移譲に伴う譲与税のほか、市税地方交付税、国庫支出金、市債のほか、国民健康保険支払準備基金繰入金などを計上いたしました。

第2条から第4条までは債務負担行為、地方債、一時借入金についてそれぞれ定めようとするものであります。

次は、議案第6号平成18年度美唄市民バス会計予算であります。

第1条は、歳入歳出予算の総額を5,154万4,000円と定めようとするものであります。

歳入歳出予算の款項の区分及びその金額は、第1表のとおりであります。

歳出予算の主なものについて申し上げますと、市民バス運行費に5,054万4,000円を計上いたしました。

一方、歳入予算の主なものとして、使用料及び手数料に1,666万6,000円を計上いたしました。

第2条は、一時借入金について定めようとするものであります。

次は、議案第7号平成18年度美唄市国民健康保険会計予算であります。

第1条は、歳入歳出予算の総額を34億3,549万4,000円と定めようとするものであ

ります。

歳入歳出予算の款項の区分及びその金額は、第1表のとおりであります。

歳出予算の主なものについて申し上げますと、保険給付費に23億3,116万5,000円を計上いたしました。

一方、歳入予算の主なものとして、国庫支出金に12億4,392万5,000円を計上いたしました。

第2条は、一時借入金について定めようとするものであります。

次は、議案第8号平成18年度美唄市老人保健会計予算であります。

第1条は、歳入歳出予算の総額を41億6,294万3,000円と定めようとするものであります。

歳入歳出予算の款項の区分及びその金額は、第1表のとおりであります。

歳出予算の主なものについて申し上げますと、医療諸費に41億5,024万9,000円を計上いたしました。

一方、歳入予算の主なものとして、支払基金交付金に22億1,646万5,000円を計上いたしました。

第2条は、一時借入金について定めようとするものであります。

次は、議案第9号平成18年度美唄市下水道会計予算であります。

第1条は、歳入歳出予算の総額を26億9,133万7,000円と定めようとするものであります。

歳入歳出予算の款項の区分及びその金額は第1表のとおりであります。

歳出予算の主なものについて申し上げます

と、下水道費に8億8,648万円を、個別排水処理施設には1億0,061万1,000円を計上いたしました。

一方歳入予算の主なものとして、市債に10億7,110万円を計上いたしました。

第2条から第4条までは債務負担行為、地方債、一時借入金についてそれぞれ定めようとするものであります。

次は、議案第10号平成18年度美唄市土地区画整理事業会計予算であります。

第1条は、歳入歳出予算の総額を11億7,885万1,000円と定めようとするものであります。

歳入歳出予算の款項の区分及びその金額は、第1表のとおりであります。

歳出予算の主なものについて申し上げますと、土地区画整理事業費に8億8,664万3,000円を計上いたしました。

一方、歳入予算の主なものとして、国庫支出金に3億6,700万円を計上いたしました。

第2条から第4条までは、債務負担行為、地方債、一時借入金についてそれぞれ定めようとするものであります。

次は、議案第11号平成18年度美唄市介護保険会計予算であります。

第1条は、歳入歳出予算の総額を21億4,764万7,000円と定めようとするものであります。

歳入歳出予算の款項の区分及びその金額は、第1表のとおりであります。

歳出予算の主なものについて申し上げますと、保険給付費に20億0,587万6,000円を計上いたしました。

一方、歳入予算の主なものとして

は、支払基金交付金に6億3,112万1,000円を計上いたしました。

第2条は、一時借入金について定めようとするものであります。

次は、議案第12号平成18年度美唄市介護サービス事業会計予算であります。

第1条は、歳入歳出予算の総額を2億1,007万2,000円と定めようとするものであります。

歳入歳出予算の款項の区分及びその金額は、第1表のとおりであります。

歳出予算の主なものについて申し上げますと、総務費に1億6,030万円を計上いたしました。

一方、歳入予算の主なものとして、サービス収入に2億0,727万4,000円を計上いたしました。

第2条は債務負担行為、第3条は一時借入金についてそれぞれ定めようとするものであります。

次は、議案第13号平成18年度市立美唄病院事業会計予算であります。

第2条は、病床数、年間患者数、一日平均患者数及び主要な建設改良事業の年度内業務の予定量を定めるものであります。

第3条から第9条までは、収益的収入及び支出、資本的収入及び支出、起債、一時借入金の限度額、流用禁止経費、他会計からの補助金、棚卸資産購入限度額についてそれぞれ定めようとするものであります。

次は、議案第14号平成18年度美唄市水道事業会計予算であります。

第2条は給水戸数、年間総排出量、一日平均排出量及び主要な建設改良事業の年度内業務の予定量を定めるものであります。

第3条から第9条までは、収益的収入及び支出、資本的収入及び支出、起債、一時借入金の限度額、流用禁止経費、他会計からの補助金、棚卸資産購入限度額についてそれぞれ定めようとするものであります。

次は、議案第15号平成18年度美唄市工業用水道事業会計予算であります。

第2条は、給水事業所数、年間総排水量、一日平均排水量及び主要な建設改良事業の年度内業務の予定量を定めるものであります。

第3条から第8条までは、収益的収入及び支出、資本的収入及び支出、起債、一時借入金の限度額、流用禁止経費、他会計からの補助金についてそれぞれ定めようとするものであります。

よろしくご審議をお願いいたします。

●議長長岡正勝君 お諮りいたします。

ただいま提案理由の説明ありました議案第39号ないし議案第15号の以上15件は、大綱質疑にとどめ、後刻設置いたします特別委員会に付託の上、審査することにいたしたいと思っております。

これにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

ご異議なしと認め、さよう決定いたします。

これより議案第39号ないし議案第15号の以上15件について一括大綱質疑を行います。

18番紫藤政則議員。

●18番紫藤政則議員 ただいま補正予算と、それから新しい年度の当初予算、それぞれ案が議会に示されたわけであります。

議長は先ほどお諮りしたように、この後それぞれ特別委員会の中で具体的に審査が始まるわけですが、この特別委員会の審査に入る

前に、これ大綱的な質疑でありますから、大綱的な質疑1つに絞りまして、市長のお考えを伺いたいと思います。

この予算はですね、総額でいきますと11会計360億円という額、4.7%の伸び率であります。

一方この予算は、それぞれの事業を、施策を担保するものでありますから、具体的にその事業、施策がどのように決められて、執行をされようと決められて、そしてこの予算書に示されたのかという部分ですね。

過去の、私の経験上からも、そこには美唄市のまちづくりの計画というものがあって、その計画をベースにして、それぞれの年度ごとの予算で具体的に事業化を図ると、お金の裏づけをして仕事していくと。こういうことを考えますと、この計画というのがいったいどういうものだろうかということが気になるわけであります。

市長の市政執行方針ですね、先ほどの市政執行方針にも、平成18年度は美唄21世紀まちづくりプラン、第5期美唄市総合計画の後期基本計画のスタートの年とこういうことが言われました。教育長の教育行政方針にもそのことが言及をされております。

平成18年の4月から後期基本計画がスタートをすると、こういう年にいま、ただいま提案のありました平成18年度の一般会計ほか11会計の予算というものが、同じく期を一にして議論をしなければならない問題なんです、この5期の総合計画後期基本計画との整合性をどのように図られて、具体的に言えば、予算編成をする際、この後期基本計画をどのように反映したのか。

もう1つは、予算の編成権も提案権も市長におありになるわけだが、一方、議会はそれを受けて、議決機関・意思機関としていいか悪いか判断しなければならん。

そのために審査をするわけですが、この議会審査ということを考えて、この予算と計画について留意した点、提案者としての姿勢でありますけれども、その点について、どういう考え方で出されたのか。

この2つについて、お答えをいただきたいと思います。

●議長長岡正勝君 市長。

●市長桜井道夫君 紫藤議員の質疑にお答えします。

最初に、予算と計画の関係についてであります、平成18年度予算編成につきましては、この計画案の段階ではございましたが、この「美唄21世紀まちづくりプラン後期基本計画」に基づきまして、重点施策を中心として各施策を推進する観点から、事務事業の選択と重点化に努めたところでございます。

次に、予算案提出に係る留意点についてであります、「美唄21世紀まちづくりプラン後期基本計画」は平成18年度から始まることから、3月の市議会定例会での報告を行いたいと考え、本年2月までにこの計画を確定すべく作業を進めてまいりました。

その最終段階として、所管の審議会への諮問、答申を得て、今般計画の確定をいたしましたので、本定例会の会期中に市議会への報告の機会をいただき、その上で予算案についての審議をいただくことが必要ではないかとこのように考えております。

●議長長岡正勝君 18番紫藤政則議員。

●18番紫藤政則議員 この問題で長々と時間をとるつもりは全くありません。

ただ、この予算審査に入るにあたりまして、私どもは常に受身でございまして、この後期基本計画についても、議会の、意思機関の議会として係りというのは法律的にはないわけでありまして。執行部サイド、市長のいわば専権事項として市長がおつくりになると。

しかし、一方で、その柱になりますまちづくりの基本構想は、これは地方自治法第2条の規定で議会の議決を要するというので、これ一体のものであります。

基本構想そのものは手直しをしないと、変えないということで進められてきましたから、議会への審査に、この問題がするということにはならなかったわけですが、そういったもので、受身でこれを受けとらなければならぬ。

しかし、一方、これを審査するとき、計画との整合性をどう図ったのかというのを、審査する側の重要なポイントとして、そのことを踏まえて審査に加わらなければならないというこういう立場でもあるわけですが、手元には後期計画がない、しかし、後期計画そのものは、先ほどのご答弁は、この案だったけれども、その案に基づいて内部で議論をして、そしてこの予算に反映させたというお話でした。そういうこともあるのかもしれません。

私、心配しますのは、この後期計画、極めて限定された時間ではありましたが、市民の皆さん方との話し合い、これはプランの段階で12ヶ所ですか、126名。多いか少ないかといえば、これは間違いなく少ないんで

すけれども、後期計画の対話をしたということになっています。

それから、職員の皆さん方も含めて、市民の公募の皆さん方で真剣な議論を重ねられたと思いますよ。あわせて、原案を市長が諮問をした、総合開発審議会ですね、諮問先は。そこで答申をいただいたということで、これは中身のよしあしは別にしまして手続きを踏まれた、そして出てきたものですね、これを具体的に予算に反映する、しかし、出来上がったのが2月28日じゃないですか。昨日じゃないですか。どうやってこれが18年度予算に反映できたか。

11月30日に予算編成方針が出されている、ここにも後期計画スタートの年だとうたわれている。

先ほども言った市長の執行方針にもある、私は、こういったせつかく積み上げられたものが形骸化、いわばアリバイとして使われてしまうような気になるのではないかという部分、大変危惧しますよ。

計画そのものが反映できるような、タイムスケジュールで作っていないですよ。

そして、議会に対しても、私も再三、この問題議論してきました。素案も見せていただいた。どうやってそれを、市民から負託を受けた議員として議会の審査に参加できるのかということ、悩みますよ。

これ、現時点で、時計の針戻すわけにはいきませんから、計画案の段階で議論をしていった。大体案通りになってしまったのかもしれませんね、最終的なものも。私のほうは、まだ目に触れていませんからわかりませんが、いま申し上げたこと、いま申し上げた

こと、市長はそういうご心配されなかったか。

様々な市政執行方針でいわれた、これからの美唄のまちづくりをどのようにしていったらいいのか、生き活き美唄をどうしたらいいのか、市民の皆さんとの協働のまちづくりをどうしたらいいのか、情報を公開して実態を知ってもらって、一緒に美唄を作っていくましようかと、その後期計画のスタートにあたって、私の心配はまったく必要がないのか、提案する側の姿勢として、ここで再度、先ほどのご答弁で済むのか。

これ以上言いませんから。次の日程も控えていますから。

私は、少なくとも今回の議会提案にあたっての姿勢として、提案者の姿勢として、反省すべき点が多いのではなかろうかとこんな考え方を持っているんですけれどもね、どうでしょう。

ご答弁をいただきたいと思います。

●議長長岡正勝君 市長。

●市長桜井道夫君 紫藤議員の質疑にお答えします。

後期基本計画につきましては、時期的にもっと早く示すべきだったというようなことでございまして、私もそれは、あるべき姿としてはもうすこし早くするのが事務的に必要ではなかったかと思っております。

また、いろんな人の意見、これは策定作業と並行して、まちづくり委員会の議論とか提言、それからまちづくり地区懇談会の様々な意見等をお聞きしながらこの策定作業を進めてきました。

また、その審議会につきましても、その計画案としてまとめたものを、今後5年間のま

ちづくりの方向として妥当かどうかということで、それぞれの専門の立場から審議をいただいたということでございまして、時間を要したものでございます。

いってみますと、予算編成に計画案で臨まざるを得なかったと、このことは私ども、事務的に反省しなくてはいけない部分だと思っております。

これから、この計画の推進にあたりましては、いままでいただいた意見や提言を踏まえるとともに、市民の皆さんとの対話をより重ねまして、新たな社会経済情勢の変化などに柔軟に対応しながら取り進めてまいりたいと考えております。

●議長長岡正勝君 18番紫藤政則議員。

●18番紫藤政則議員 思ったのですが、事務的にという言葉がありましたね、事務的にということ。これは恐らくスケジュール設定とかというそういう趣旨なんでしょうけれども、これ事務的にというと、事務屋さんがまずかったようなふうに聞こえたらまずいと思えますよ。

市長は、予算編成2回目でしょう、市長に就任されてね。そして、計画行政の議論も釈迦に説法だと思えますよ。

それから、事業の絞り込みというのは、スクラップ・アンド・ビルドとよく言われましたけれど、スクラップ・アンド・スクラップ・アンド・スクラップですよ。

こういう厳しい、まさに危機的な財政環境ですよ、この中でどうやって美唄がこれから自立していけるかというそういった後期計画のスタートじゃないですか、それをわかっているはずですよ。

せっかくご議論いただいたものが無にならないようにしていかなければならない、これは、ひとえにトップリーダーとしての姿勢の問題、私はこう思ったんです。

しかし、いま、ご答弁では事務的にというお話があった。ここは認識の相違ではなくて、私は、市長自信のそこにある事務的なものだとということで片付ける、そういう、そのものに問題があるような気がしてならないのですけどね。その点いかがですか。

●議長長岡正勝君 市長。

●市長桜井道夫君 私、事務的にという表現をした部分ございますけれど、これは、より多くの市民の方等の意見を聞くという部分でこれに時間を要したということでございます。

いずれにしても、本当に厳しい中で、これからその事業の重点化等を含めながら、5年間のまちづくりをより多くの方のご意見を聞きながら実行してまいりたいとこのように考えております。

●議長長岡正勝君 これをもって、一括大綱質疑を終結いたします。

お諮りいたします。

議案第39号ないし議案第15号の以上15件については、11人の委員をもって構成する予算審査特別委員会を設置し、これに付託の上、審査することにいたしたいと思っております。

これにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

ご異議なしと認め、議案第39号ないし議案第15号の以上15件については、11人の委員をもって構成する予算審査特別委員会を設置し、これに付託の上、審査することに決定いたしました。

お諮りいたします。

ただいま設置されました予算審査特別委員会委員の選任については、委員会条例第8条第1項の規定により、

広島雄偉議員、小関勝教議員、
土井敏興議員、谷内八重子議員、
長谷川吉春議員、矢部正義議員、
谷村孝一議員、川本政芳議員、
内馬場克康議員、紫藤政則議員、
荘司光雄議員、

の以上11人の議員を指名いたしたいと思っております。

これにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

ご異議なしと認めます。

よって、ただいま指名いたしました11人の議員を予算審査特別委員会の委員に選任することに決定いたしました。

●議長長岡正勝君 次に、日程の第49決議案第1号第5期美唄市総合計画後期基本計画調査特別委員会設置に関する決議を議題といたします。

本件に関し、提案理由の説明を求めます。

14番川本政芳議員。

●14番川本正義議員（登壇） ただいま議題となりました決議案第1号第5期美唄市総合計画後期基本計画調査特別委員会設置に関する決議について、お手元の案文を朗読し、提案理由の説明にかえさせていただきます。

第5期美唄市総合計画後期基本計画調査特別委員会設置に関する決議。

1、本市議会に、第5期美唄市総合計画後期基本計画調査特別委員会を設置する。

設置の目的。

2、本委員会は本市における第5期美唄市総合計画後期基本計画についての調査を行うことを目的とする。

調査事項。

3、本委員会の調査事項は、次のとおりとする。

(1) 第5期美唄市総合計画後期基本計画について。

(2) その他必要な事項について。

委員の定数。

4、本委員会の定数は21人とする。

調査期間と閉会中の審査。

5、本委員会は、閉会中も調査を行うことができることとし、議会において調査終了を議決するまで委員会を継続存置する。

経費。

6、本委員会の調査に要する費用は、議長の承認を得て支出する。

上記決議する。

平成18年3月1日、美唄市議会。

●議長長岡正勝君 お諮りいたします。

ただいま提案理由の説明ありました決議案第1号については、原案のとおり決することにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

ご異議なしと認めます。

よって、決議案第1号第5期美唄市総合計画後期基本計画調査特別委員会設置に関する決議は原案のとおり決定されました。

お諮りいたします。

ただいま設置されました第5期美唄市総合計画後期基本計画調査特別委員会委員の選任については、委員会条例第8条第1項の規定

により、

吉岡文子議員、広島雄偉議員、五十嵐 聡議員、白木優志議員、小関勝教議員、土井敏興議員、谷内八重子議員、長谷川吉春議員、米田良克議員、古関充康議員、矢部正義議員、谷村孝一議員、川本政芳議員、内馬場克康議員、本郷幸治議員、吉田 栄議員、紫藤政則議員、荘司光雄議員、林 国夫議員、中西勇夫議員、長岡正勝、

の以上21人の議員を指名いたしたいと思えます。

これにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

ご異議なしと認めます。

よって、ただいま指名いたしました21人の議員を第5期美唄市総合計画後期基本計画調査特別委員会の委員に選任することに決定いたしました。

●議長長岡正勝君 以上をもって、本日の日程は全部終了いたしました。

本日は、これをもって散会いたします。

午前11時28分 散会